報　道　発　表

令和８年１１月１３日
東　　京　　税　　関

東京税関中央地区密輸出入取締対策協議会を開催

令和８年１１月１３日（金）、東京港湾合同庁舎において、「令和８年度東京税関中央地区密輸出入取締対策協議会」を開催する。

本協議会においては、深刻な社会問題となっている不正薬物等の密輸事犯について、関係取締機関との情報交換及び取締強化のための協議を行う。

１．参加機関

東京税関、東京地方検察庁、さいたま地方検察庁、警視庁、群馬県警察本部、埼玉県警察本部、山梨県警察本部、関東信越厚生局麻薬取締部、海上保安庁、東京出入国在留管理局、警察庁、東京都保健医療局

（１２機関、計約７０名）

２．最近の密輸摘発状況

本年１月から９月までの間、東京税関管内において摘発した不正薬物の摘発件数は、２０２件、押収量は約６４０kg となった。

不正薬物全体の摘発件数及び押収量はともに減少しているが海上貨物から１００kg を超える覚醒剤を摘発した。

コカインについては、押収量が最多となった昨年に引き続き、本年も既に高い水準にある。

金地金の摘発件数は８１件、押収量は約３２６kg となり、摘発件数、押収量共に前年同期と同水準にある。

このような情勢を踏まえ、本協議会では、これらの不正薬物等の摘発・検挙状況と事犯の傾向について情報交換し、関係機関が一層緊密に連携し、密輸阻止に向けた取締りを強化することにより、安全・安心な社会の実現を目指すこととしている。

３．その他

東京税関管内では、今後、山形地区（１１月１８日）、新潟地区（１１月１９日）、成田地区（１１月２４日）においても、密輸出入取締対策協議会を順次開催する予定。